

2022年度 未来ファンドおうみ助成事業 申請書

記入上の注意

年 月 日

公益財団法人淡海文化振興財団 理事長

(申請者)

住所 〒

団体名

代表者職名

代表者氏名

印

2022年度の未来ファンドおうみ助成事業を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

助成を申請する事業の名称(事業名) (30文字以内で、事業内容がわかる名称にしてください。)

30文字以内で、事業内容がわかる名称にしてください。

助成を申請する基金 (○印をつけてください)

<input type="checkbox"/>	びわこ市民活動応援基金 A	<input type="checkbox"/>	びわこ市民活動応援基金 B
<input type="checkbox"/>	びわこ市民活動応援基金 C	<input type="checkbox"/>	びわ湖の日基金
<input type="checkbox"/>	積水化成品基金	<input type="checkbox"/>	笑顔あふれるコープしが基金
<input type="checkbox"/>	ナカザワNEOフレンドシップ基金	<input type="checkbox"/>	げんさん食育NPO基金
<input type="checkbox"/>	湖国文学活動応援むらさき基金	<input type="checkbox"/>	びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金①
<input type="checkbox"/>	びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金②	<input type="checkbox"/>	

申請事業の総経費 (P.7のAの金額)	金	297,000円
未来ファンドおうみ助成金申請額 (P.7のBの金額)	金	225,000円 (千円未満切り捨て)

添付資料 (※必ず提出してください。確認をして、○印をつけてください。)

<input type="checkbox"/>	① 定款、規約、会則など	<input type="checkbox"/>	② 役員名簿 (現時点のもの)
<input type="checkbox"/>	③ 2020年度の事業報告書	<input type="checkbox"/>	④ 2020年度の決算書類(活動計算書)
<input type="checkbox"/>	⑤ 2021年度の事業計画書	<input type="checkbox"/>	⑥ 2021年度の予算書

※「笑顔あふれるコープしが基金」と「びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金①」に申請する2021年度に立ち上げたばかりの団体は、③④は無くても結構です。

※「湖国文学活動応援むらさき基金」に申請する2021年度に立ち上げたばかりの団体は、③④⑤⑥は無くても結構です。

任意提出の資料 (あれば提出してください。提出される資料に○印をつけてください。)

<input type="checkbox"/>	パンフレット	<input type="checkbox"/>	写真
<input type="checkbox"/>	ニューズレター、会報 等	<input type="checkbox"/>	その他()

担当者連絡先 ※この申請に関する担当者名・連絡先をお書きください。

・氏名	
・住所 〒	
・電話	・携帯電話
・e-mail	・FAX

団体(NPO・市民活動団体)概要書

団体名	
団体設立日	年 月 日
団体の目的	※定款や規約、会則などに記載されている目的を記入してください。
団体の主な活動とその成果	※定款やこれまでの事業内容、事業報告などに記載されている事業をベースに、団体の現状がわかるように記入してください。事業対象者が活動へ参加されている様子やその数、活動による変化、地域との連携の有無なども積極的に記入してください。
団体としての問題点や課題	
構成メンバー (種類と人数)	会員(正会員 人、その他の会員[] 人) ボランティア(年間延べ 人) その他()
事務局	専用スペース 有 ・ 無 常勤スタッフ いる(有給 無給) ・ いない
インターネットでの 情報公開	情報公開 有 ・ 無 ホームページ URL ブログ URL 掲載情報に○印をつけてください。 1. 規則・定款 2. 役員名簿 3. 事業報告 4. 収支報告
過去5年間に受けた 主な補助金・助 成金の実績	※過去に補助金等を受けた実績があれば、補助金等の名称、金額等を記入してください。

申請事業 計画書

(1) 助成を申請する事業の名称(事業名) (P.1の名称と同じ)

P.1の事業名と同じ事業名をご記入ください。

(2) 事業の実施時期 (期間)

年 月 日 ~ 年 月 日

(3) 背景と目的

① 事業実施の背景(地域社会が抱える課題・ニーズ)

※この事業を実施するにあたり、その背景となっている地域社会が抱える課題やニーズについて、簡潔にご記入ください。

② 事業の目的

※①の事業実施の背景をふまえたうえで、この事業の目的を記入してください。

(4) 事業概要

※「②事業の目的」を達成するために、どのような事業を実施するか(誰が、誰に、何を、どういう方法で実施するのか)を枠内に記入してください。なお、連携する団体や組織がある場合は、それらの団体・組織との協力体制についても説明してください。また、スケジュールを含む事業の詳細については「(10)スケジュールと具体的な内容」に記入してください。

※積水化成品基金については、積水グループ社員がボランティアとして参加する活動の内容を具体的に書いてください。(具体的な参加スケジュールや場所については「(10)スケジュールと具体的な内容」に記入してください。)

(5) 事業のアピール(任意)

※先駆性や波及性、発展性など事業の特徴があればアピールしてください。

(6) 事業における地域との関わり

※地域に根ざし、地域の多様な人々の協力によって支えられる事業であることを、具体的かつ簡潔に記入してください。

(7) 事業実施によって期待できる効果

※「(3) 背景と目的」の「②事業の目的」を達成することで、①事業実施の背景に記入した地域社会が抱える課題の解決やニーズの充足にどうつながるのかを、他団体や地域への波及効果とともに記入してください。

(8) 助成期間終了後の展望

※助成期間終了後、助成を受けた事業をどのように継続・展開していくのか、あるいは自団体の活動をどのように展開していくのかの展望を記入してください。

(9) 申請事業の特性 (いずれかに○印をつけてください。)

①: 申請者が申請年度から新たに取り組む事業

②: 申請者が以前から実施している事業を改善・発展させた事業

※②の場合は、従来の事業をどのように改善・発展させたものであるかを書いてください。

(10)スケジュールと具体的な内容 (いつ、どこで、何を、どのように実施するのか?)

※申請事業にかかる実施予定を時系列に、可能な限り具体的に書いてください。事業実施のための準備(会議等)も記載してください。

※事業期間は、2022年4月から2023年3月までとしてください。

※日程が確定していない場合は、〇月〇日(予定)と書き添えてください。

実施予定日	実施場所	実施内容

(11) 中期計画 ※びわこ市民活動応援基金 B に応募の場合のみ記入

申請年度を含む 3 年間で目指すこと

3 年間の事業内容

* 誰に、何を、どのような方法で実施し、何を達成したいか、具体的に記入のこと

(1 年目)

(2 年目)

(3 年目)

申請事業 予算書

(※団体全体の年間予算ではなく、申請事業に関する予算を抜き出して記入してください。)

【収入の部】

※この事業にかかる補助金、助成金、寄付金等は、申請中や見込みも記入してください。

区分	金額 (円)	内訳 (積算根拠、申請中、見込みの記入)
未来ファンドおうみ助成金申請額 (B)	225,000	※事業の実施に充てる収入を、概算の金額で結構ですので記入してください。 ※補足事項があれば、この内訳欄に記入してください。
事業収入 (C) 〈参加費等〉	50,000	
自己資金 (C) 〈会費等〉	22,000	
その他収入 (C) 〈国や地方公共団体からの補助金、民間団体からの寄付金など〉	0	
収入合計 (A)	297,000	支出合計(A)と一致

【支出の部】(※各経費について、その積算根拠を「内訳」欄に具体的にご記入ください。)

科目 ※対象となる科目は募集案内をご参照ください。	内訳 (積算根拠)	申請事業 全体予算額 (B+C) (円)	未来ファンドおうみ 助成対象の 予算額 (B) (円)	その他の資金 からの 支出予定額 (C) (円)
(例) 旅費交通費	駐車料 600円×2台×10回 スタッフ交通費 500円×2×10回	22,000	0	22,000
通信運搬費	郵送料 500円×20	10,000	0	10,000
消耗品費	材料費 13,000×10回	130,000	100,000	30,000
印刷製本費	イベントチラシ 4000円×10回	40,000	30,000	10,000
保険料	1000円×10回	10,000	10,000	0
諸謝金	外部講師謝金 10000×3	30,000	30,000	0
使用料・賃借料	会場使用料 5000×5回 キャンプ場使用料 15,000×2回	55,000	55,000	0
支出合計 (A)		297,000	225,000	72,000

収入合計(A)と 助成金申請額 (C)
一致 (B)と一致 (C)=(A)-(B)

※「諸謝金」については、その内訳(積算根拠)の中に、外部講師謝金か団体構成員謝金を必ず明記してください。